

令和4年度 第3回 佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会

会 議 録

〔会議概要〕

日 時	令和4年12月20日（火） 午後2時32分から午後3時55分まで		
場 所	佐倉市社会福祉センター3階中会議室		
会議次第	1. 開会 2. 福祉部長あいさつ 3. 議事 （1）令和4年度 地域包括支援センター事業評価結果について （2）第9期 介護保険事業計画（高齢者福祉・介護計画）に向けた調査の実施について （3）その他 4. 閉会		
出席委員 （13名）	会 長	岩淵 康雄	（医師）
	副会長	谷野 宏輝	（社会福祉協議会）
	委 員	森本 功	（歯科医師）
	〃	小川 美津子	（民生委員・児童委員）
	〃	田仲 知代	（ボランティア団体）
	〃	川崎 順子	（高齢者クラブ）
	〃	大嶋 和俊	（施設介護サービス事業者）
	〃	石原 隆広	（在宅介護サービス事業者）
	〃	石原 茂樹	（公募市民）
	〃	岡田 恭比呂	（公募市民）
	〃	草場 孝志	（公募市民）
	〃	千葉 憲司	（公募市民）
	〃	根本 弘子	（公募市民）
欠席委員（1名）	委 員	石川 雅俊	（学識経験者）
事務局	福祉部長	亀田 満	
	高齢者福祉課長	田中 綾子	
	介護保険課長	向後 妙子	
	高齢者福祉課 生きがい支援班長	副主幹 金子 知子	
	包括支援班長	主 査 秋葉 直子	
	包括ケア推進班長	副主幹 開出 ゆかり	
	地域支援班長	主 査 須藤 克友	
	地域支援班	主査補 清水 直樹	
	介護保険課 介護給付班長	主 査 遠藤 慶子	
	介護資格保険料班長	主 査 今川 真木子	
	介護認定班長	副主幹 植木 隆太郎	
	書記 高齢者福祉課 生きがい支援班	主査補 檜垣 幸夫	
	生きがい支援班	主 事 小野寺 龍祐	
その他	傍聴者 1名 地域包括支援センター管理者（志津北部、志津南部、臼井・千代田、佐倉、南部） 5名		

〔発言要録〕

発言者	内 容
○高齢者福祉課長	【 開 会 】 ただいまより「令和４年度 第３回 佐倉市 高齢者福祉・介護計画 推進懇話会」を開会いたします。 本日の会議は、議事録作成のため録音をしておりますので、あらかじめご了承ください。また、新型コロナウイルス感染症予防対策といたしまして、マスクの着用と会議時間の短時への、ご理解・ご協力をお願いいたします。 なお、事業運営の推進を図るため、各地域包括支援センターの職員も出席させていただいております。よろしくお願いいたします。
○高齢者福祉課長	【 資料確認等 】 始めに、会議に使用する資料の確認をお願いいたします。 本日の資料は、事前にお送りした資料として、会議の次第、議事(１)の資料１-１・１-２・１-３と、議事(２)の資料２でございます。 資料の不足等はありませんでしょうか。
○高齢者福祉課長	【 福祉部長あいさつ 】 次に、福祉部長からあいさついたします。
○福祉部長	福祉部長の亀田でございます。 本日はお忙しい中、ご出席を頂きありがとうございます。 今年度も、新型コロナの影響もありますが、それぞれが工夫・対策を行い、推進を図っております。また、高齢者いきいき応援事業など、交付金を活用する事業も行っているところであります。 今日の懇話会では、事業の改善や適切な運営に反映させるための地域包括支援センター事業評価 及び 次期高齢者福祉・介護計画の策定に向けた情報・調査予定などとなっております。 委員の皆様方には様々な角度からご意見を頂き、事業を進めてまいりたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。
○高齢者福祉課長	では、ここからは、議事となりますので、佐倉市 高齢者福祉・介護計画推進懇話会 設置要綱第７条第１項の規定に基づき、会長に議長をお願いするところですが、急遽、少し遅れるとのことでありますので、それまでの間、副会長に議事進行をお願いいたします。

発言者	内 容
◇副会長	【 会議の成立等 】 事務局から報告のありましたとおり、会長が来られるまで、副会長が会議の議長を務めさせていただきます。 副会長の谷野でございます。よろしくお願いいたします 当懇話会の設置要綱第7条第2項に「委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない」とあります。本日は、石川委員が所要により欠席、会長が遅れるとのことですが、委員の過半数が出席していますので、本日の会議は成立いたします。 なお、本日の会議の内容は、公開することにより公正・円滑な議事運営が阻害されるものに当たらないため、会議は公開とし、傍聴を認めることといたします。よろしいでしょうか。 〔「異議なし」の声あり〕 ◇副会長 それでは、傍聴人に入室いただきてください。 〔傍聴人入室、着席〕 傍聴人をお願いします。傍聴要領を確認いただき、会議進行へのご協力をお願いいたします。
◇副会長 ○高齢者福祉課（須藤） ◇会 長	【 議 事（１）】 それでは、「議事１ 令和４年度 地域包括支援センター事業評価結果について」です。本日は 各地域包括支援センターにも出席をいただいています。なお、地域包括支援センターの皆様は議事１ 終了後、退席となります。 それでは事務局の説明をお願いします。 高齢者福祉課 地域支援班の須藤でございます。お手元の資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3 につきまして、説明させていただきます。 〔資料の訂正（正誤表を説明）以下、資料 1－1、1－2 及び 1-3 を説明〕 （会長出席により議長交替） 遅くなり申し訳ありません。 では、令和４年度地域包括支援センター事業評価結果について、ご質問、ご意見等があれば、お願いします。なお、発言の際には委員名もお願いします。

発言者	内 容
◇会 長 ○高齢者福祉課（須藤） A 委員 ○高齢者福祉課（須藤） B 委員 ○高齢者福祉課（須藤） B 委員 ○高齢者福祉課（須藤）	〔 質疑・応答 〕 確認をさせていただきます。この結果は4月から9月の状況でよろしいか。 資料 1-2 の3 ページ 23-2 で全体の相談件数があるが人口の多い圏域では多くなっているが相談内容は解決しているのか。人員は多く配置されているのか。 センターの人員配置については、圏域の 65 歳以上人口の割合に応じて配置しています。相談件数の多さでの配置とはなっていません。 3 段階の評価、標準的な取り組み○、センター独自の工夫した取り組み◎、標準的な取り組みに満たない▲とあるが標準的な取り組みとは何か。また、センター独自の取り組みとは標準的な取り組みが行えず工夫したものと解釈すべきか。 評価についての○は指標に対して内容が満足している、▲が指標に対して満足していない2 段階が基本であるが、佐倉市独自の取り組みとして標準取り組みよりもさらに良いものに◎をつけていますので、佐倉市としては◎、○、▲の3 段階で評価を行っております。 資料 1-2 の1 ページ 7 での3 職種配置について、説明にあったとおり3 包括で保健師ではなく看護師の配置となっているが、将来的な採用等の予定はどうか。 地域包括支援センターで保健師の募集を行っているが採用できていない状況です。今後も配置に向け取り組んでまいります。 同じく3 ページ 23-2 で相談件数が倍増しています。コロナ禍ではありますが市の高齢化率が上がってきている状況があります。特に志津北部圏域では独り暮らしの方の相談件数が倍増となっている、認知症の方も増えている。ユーカリが丘地区でも高齢化率が高くなっているなどの状況がある。抜本的な対策、包括での対応のみでなく、全体を見据えていく必要があると思うが。 委員のご意見も踏まえ、事業担当や地域包括支援センターと連携しながら対応してまいります。

発言者	内 容
A 委員	先ほどの評価の件で、頑張ったけれどもダメであった、それが今後の課題として見えてくる。頑張ったがダメであった、それも記号で加える工夫をしてはどうか。
○高齢者福祉課（須藤）	この表では結果しか見えてこないなので、そのプロセスが見えるよう意見も踏まえ考えてまいります。
C 委員	資料 1-3 の中で、利用者にアンケート調査を行っているがどの様に行ったのか。無作為なのか、記名・無記名なのかなど教えてほしい。
○高齢者福祉課（須藤）	アンケート方法は無記名式です。配布方法は包括の窓口に置き、来られた方に職員がお声かけし、アンケートにご協力を頂いています。
C 委員	アンケートはその場で記入するのか、持ち帰って記入するのか。
○高齢者福祉課（須藤）	その場で記入・提出されても大丈夫ですし、お渡しする返信用封筒で提出することも可能です。
◇会 長	介護事業所各 6 事業所であるが、佐倉包括での回答が少ないようであるが。
○高齢者福祉課（須藤）	アンケートを依頼したが回答を得られなかった状況です。来年度も協力の依頼を行ってまいります。
D 委員	資料 1-3 の 2 ページの設問で多くが「満足・80%以上」となっているが、設問 4 で満足 61%、やや満足 10%と他の設問より低い状況であることが気になった。具体的になにが分かりにくかったのか、今後の対策は考えているのか。
○高齢者福祉課（須藤）	分かりにくいとの内容を見ると、南部包括では入口の看板が分かりづらいとの意見がありました。また、南部包括自体の入口には看板はあるが、館内の案内表示箇所は目線より少し高い位置にあります。他地区でも複合施設の中にある場合など、すぐ見つけづらい状況もあります。今後とも、分かりやすい表示が出来るよう施設管理者との協議を行い、改善できるよう対応を図ってまいります。

発言者	内 容
A 委員	アンケート結果について、利用者目線より属性とのクロス分析をお願いしたい。男女、年齢、独り住まい等で利用者の意見がわかれば、より結果分析が出来ると思われれます。
○高齢者福祉課（須藤）	貴重なご意見であり、検討してまいります。
C 委員	臼井・千代田包括支援センターが場所の移転をしたが、元の場所と移転先の場所で利用者の状況はどうか。
○臼井・千代田包括支援センター管理者	10 月 1 日に移転しまして 10 月に関しては相談件数が 30 件程増えた状況となっています。以前より広くなりバリアフリーとなっていますので入りやすいとのご意見もあります。しかし都合上、移転前の場所に移転案内を長い期間掲示出来なかったため、移転が分からなかったとの意見もあるので、これからも周知が必要と考えております。
◇会 長	場所の関係として、アンケート 13 ページの最後に南部包括での意見として、地域が広いので、今の場所では健康な人でも積極的に行けないとの意見もあるが、圏域の広さもあり仕方がない面もあるがどうか。
○高齢者福祉課（須藤）	南部包括の担当する管轄は広範囲であり、センターは 1 カ所であるが、今後、国の制度も参考としながら検討を行ってまいります。
◇副会長	資料 1-2 の 47-1 で各圏域での特性があるが、交流機会の減少、住民同士の連携が希薄、交通アクセスが悪い、身近に相談できる人や場所がない等、孤立・孤独に繋がる課題が出ていると思われれます。高齢者だけの問題ではなく、地域住民が様々なことを知ることと様々な機会に参加することがなければ、分野ごとの計画や施策では解決できないものと考えています。地域共生社会が解決に向かっていく一つのものと考えますので、今回の意見等を地域福祉計画にも盛り込まれ、地域全体として、佐倉に住んで良かったと思われるような地域社会の仕組みづくりに繋がればと思います。
◇会 長	アンケート 9 ページの問 4 の意見で、利用される方のアセスメントがされていない、予防の方の依頼が多い、サービスを利用する確定前に依頼がある等あるが、どのようなアセスメントなのか。

発言者	内 容
○高齢者福祉課（須藤）	ある程度はこのような意見があることは想定しているが、意見があるたびに高齢者福祉課と包括支援センターが連携し対応や今後どうしていくか、検討を行ってまいります。
◇会 長	議事１については、よろしいでしょうか。 それでは地域包括支援センターの皆様は、ここで退席となります。 〔 地域包括支援センター 退席 〕
◇会 長	【議 事（２）】 では、次に議事２「第９期 介護保険事業計画（高齢者福祉・介護計画）に向けた調査の実施について」、事務局の説明をお願いします。
○高齢者福祉課（金子）	高齢者福祉課 生きがい支援班の金子です。資料２のご説明をさせていただきます。 〔以下、資料２ を説明〕
◇会 長	ここまでの説明に関して、ご意見、ご質問があれば、お願いします。なお、発言の際には委員名もお願いします。 〔質疑、応答〕
○委員	佐倉市の６５歳以上の要支援者、要介護者は何人ぐらいいるのか。何割ぐらいが要支援要介護なのか。もしわかれば教えて欲しい。
○介護保険課（植木）	今手元にあるデータでは、今年の１１月末現在での要介護認定者数（支援者を含む）は８９２５人。６５歳以上の方については人口５６９２４人。このうちの認定を持っている方の割合は１５.２９%です。
◇会 長	この数字は他の市町村と比べると高いのか、低いのか。
○介護保険課（植木）	認定率に関しては県内では低い。第８期の時には県内で９番目に低い市町村だった。従来佐倉市は前期高齢者が多かったが、そこから推移して後期へスライドすることにより認定率はあがっていくと予測されています。

発言者	内 容
A 委員	アンケート関係でお伺いしたい。対象者が3500人、在宅が800人を切ったとあるが、この数字をどの程度母数として重視しなければいけないのか。この3500を切った理由が少し不透明なところがある。そういう点でデータの信憑性や偏りだとかいろいろな問題点を想定している。可視化したときに、佐倉市として本当の実態の部分をどの程度さらけ出せるのか少し不安である。
○高齢者福祉課（金子）	ニーズ調査だが、必要な標本数が400程度必要であり、回収率を考えると400とれる形で、かつ、郵送なりの予算がかかるので、圏域ごとに400とれるようにする為に700出しておけば、ある程度大丈夫だろうというところで前回同様、今回もこういう数になっています。
○介護保険課（植木）	今の質問に関連して在宅介護実態調査のサンプル数については、人口がおおむね10万人以上の自治体であれば600件で充分であるというのが国の方から示されている。600件の根拠についてはおそらく統計学的なものだとは思いますが、公開されていないのでこちらでもわからない。有効回答数に余裕を持たせ、800件程度を回収する予定で考えている。既にこちらの調査が始まっており12月から回収している。本日現在で回収数が194件。毎月介護認定の更新申請される方への手紙の中に同封させて頂き、回収率でいうと現在32.2%。前回の8期のときの回収率とほぼ同様で、概ね同じぐらいの回収を見込んでいる。今後も引き続き回収を進め、調査結果については来年度この会議の中でより詳細な分析等をご報告させて頂く予定です。
A 委員	属性とのクロスというのは、アンケートではどの程度のガイドラインというのがあるのか。基本的にいろんな要支援者のランクがあると思うが、その方たちによって回答するものが変わってくるのではないかと。
○介護保険課（植木）	在宅介護実態調査についてはご指摘の通りクロス集計を行っております。回答者の方、対象者の属性、例えば単身世帯であるのか、夫婦のみの世帯であるのか、その他であるのか、といったようなものを組み合わせて分析をし、要介護度とか、利用されているサービス等、そういったものともクロスをしているが、全ての組み合わせをまとめると膨大なものになってしまうので、そのうちから特徴的な部分については報告する予定です。
◇会 長	調査対象者について何か調整するのか？例えば独身の方とか。

発言者	内 容
○介護保険課 (植木)	配布にあたっての調整は今のところしておらず、基本的には介護認定の更新を迎える方に対してという形です。あらかじめ選別というのは難しいと思っています。
A 委員	母数との関係で、あまり絞り込むとかえって少なくなったときに分析が大変なので気になった。ありがとうございます。
◇会 長	【議 事 (3)】 よろしいでしょうか。 では、次の議事3「その他」ですが、事務局からあれば、お願いします。
○介護保険課 (遠藤)	介護保険課の遠藤でございます。前回の懇話会でご審議をいただきました「地域密着型サービス事業所整備法人の公募」に関して、スケジュールの遅れが生じたので、ご報告させていただきたいと存じます。 資料を配布させていただきます。 〔以下、配布資料により状況を説明〕
◇会 長	ただいまの説明に関して、ご意見、ご質問があれば、お願いします。 なお、発言の際には委員名もお願いします。 〔質疑、応答〕
A 委員	どういうことを事業者についてやったら良いのか。本当にお願いして大丈夫なのか、一般目線で見ると不安である。事業者の一番の課題というのは整理するとどういうことか。
○介護保険課 (遠藤)	市としては、銀行と福祉医療機構の2か所からの融資を受けることについて、融資先との相談内容について詰めが甘かったと正直感じています。
A 委員	どちら側ですか。市ですか。
○介護保険課 (遠藤)	事業者側ですが、私どもの方から銀行や福祉医療機構に直接融資の内容相談はできないので、事業者側から提供された内容をこちらでは確認しました。公募検討会の中でもサービス付き高齢者向け住宅がメインで

発言者	内 容
	施設公募をかけている事業所が併設されているというのは初めてであり、「サービス付き高齢者向け住宅の資金繰りが提出書類の中で見えてこない限り、設置法人として選定することができない。」というご意見を検討委員会から頂いたので、追加資料を求めて皆様に審議して頂きました。その追加資料の部分が、足りなかったと思っています。
A 委員	事業者の借入を保証できる何か確約はとれているのか。
○介護保険課 (遠藤)	事業者から既存施設と新しい施設が一体的でないと融資が受けられないという話があった時に、私どもの施設整備の担当から福祉医療機構と直接やりとりをしました。「ときわの杜（既存の特養）と今回建てる「もりの家」というサービス付き高齢者向け住宅の間にある森林を共有して、行き来できるような形で開発するのであれば融資は可能である。」ということ、福祉医療機構に直接、確認をしています。
A 委員	問題がいろいろある。最後の詰めを直接やれないのが歯がゆい。このまま信頼して進めていいが、やっぱり致命的な部分で進みませんでしたというのがあったと結局振出しに戻るのが一番つらい。確認のポイントをミスすると大変な話になる。
◇会 長	よろしいでしょうか。 では、引き続き整備を進めることといたします。 他にあれば、お願いします。
C 委員	第9期の介護保険事業計画の説明の中で資料2の3ページ目の2行目。市では計画策定、第8期計画の見直しと書いてあるが、第9期の計画は第8期の計画の見直し、アップデートするとかローディングするとかそういう意味合いでとらえてよろしいか。
○高齢者福祉 課（金子）	現在の計画の進捗も見ながら見直しも行い、第9期を作るという意味で記載しています。
◇会 長	他に事務局からあれば、お願いします。
○高齢者福祉 課（金子）	今後、推進懇話会の議事録を作成いたしますので、確認等をお願いいたします。 また、次回の推進懇話会は、現在ところ3月14日火曜日午後2時からの開催を予定していますので、日時等の予定をお願いいたします。

発言者	内 容
◇会 長	委員の方より、何かありますでしょうか。 〔特になし〕
◇会 長	【 議事終了 】 以上で本日の議事はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。
○高齢者福祉課長	【 閉 会 】 岩淵会長には、議長をお務めいただき、ありがとうございました。 また、委員の皆様には、お忙しい中を会議にご出席くださいます、ありがとうございました。 本日が本年最後の懇話会です。コロナ禍という状況の中、委員の皆様のご尽力、ご協力に感謝申し上げますとともに、来年もよろしくご指導くださいますようお願いいたします。 これにて「令和4年度 第3回 佐倉市 高齢者福祉・介護計画 推進懇話会」を閉会いたします。